

誘い

2017年11月13日から17日にかけて、東アジアの若手天文学者が集まり研究発表を行う国際会議「東アジア若手天文学者会議(East Asian Young Astronomers Meeting, EAYAM)2017」がアトホテル石垣島で開催されました。

本会議は主に日本、中国、韓国、台湾の若手研究者を対象として、天文学研究の相互交流を促進することを目的としています。これまで2〜3年の間隔で定期的に開催しており、今回の日本開催で6回目を迎えます。

若手研究者が研究発表を通じた相互交流を行うことにより、近年大型観測施設の国際共同利用、

理論研究などにおいて大きな成果を挙げている東

東アジア若手天文学者会議(EAYAM)2017主催公開講演会

「天文学最前線」～天文学における二大発見物語～

石垣島天文台施設責任者 花山 秀和

目指します。

これに関連し、EAYAM2017では、一般の方を対象とした公開講演会を以下の日程で行います。

アジアの天文学の研究協力体制のさらなる発展を

天文学の第一線で活躍する若手研究者の大宮正士さん(国立天文台太陽系外惑星探査プロジェクト室特任研究員)と鈴木尚孝さん(東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構特任助教)を講師に迎え、未知の惑星の姿をみせてくれる太陽系外惑星探査や、現代物理学最大の謎の一つである暗黒エネルギーに関する研究など、最先端の研究トピックスをご紹介します。どなたでもお気軽にご来聴ください。

◆日時

11月18日(土)
午後2時開演

◆会場

沖縄県立石垣青少年の家大研修室

◆主催

東アジア若手天文学者会議(EAYAM)2017

◆共催

NPO法人八重山星の会

◆講演1

「太陽系外惑星発見絵巻・天体観測によってめぐりあう地球にそっくりな惑星」

◆講師

大宮正士(国立天文台太陽系外惑星探査プロジェクト室特任研究員)

◆講演2

「暗黒エネルギー発見物語・謎に迫る最新の観測と将来の計画について」

◆講師

鈴木尚孝(東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構特任助教)

◆定員

60人(入場無料)

◆対象

内容は主に小学校高学年以上を想定していますが、どなたでもご来聴いただけます。

◆申し込み

NPO法人八重山星の会(098-655506)までお電話でお申し込みください。空席がある場合には当日のご参加も可能です。